

ダイレクトイメージング印刷機(DI 機)はデジタル機と通常のオフセット印刷機の折衷機以上のものなり、と Presstek の Ed Marino は言う。

Presstek は平版オフセットの未来論議に大きな影響を与え出した。その技術はコンピューター・ツー・プレート(CTP)環境で使われ、ダイレクト・イメージ印刷機と呼ばれ、機上で使うのと言うのがミソである。世界中には2600台ものDI機が設置され、93%ほどの方が Presstek の「予め搭載した版への書きこみ」技術を使っている。見当合わせの心配はなく、また、色出しも心配するに足りない。枚葉オフセット機の最も簡略化した、また、最も技術進歩したものだ。

DI は今日の枚葉オフセット機とインディゴ、ゼロックス、キャノンやそのようなメーカーによって採り上げられたデジタル印刷機の間を行くものと見られている。しかし、Presstek の CEO、Ed Marino はそんな見解以上のものと見る。DI 印刷機は少なくとも、B1 サイズ以下の、全ての枚葉印刷機のデファクト・スタンダードになり、新しいアプリケーションが開けることにより、平版の生命延長が期待できるとしている。

市場状況

Presstek の強力さに荷担する状況はある。仕事の足は短くなり、迅速仕事離れと反復性に価値が生じてくる。オペレーターのスキルは落ち、スキルはオペレーターからマシンへ移転してくる。DI 機の調整箇所は少なく、適性にセットアップがきき、これら要素が受けている。これはまた、全自動デジタル電子写真印刷機の要望に向かわせる。「しかし、これらは500枚を超えるか、場合によってはそれ以下の印刷枚数でも経済的ではない。」と彼は言う。

DI の機械の安定性と変動要素が少ないので、配信して印刷する用途には最適である。と言うのは DI 機は品質差異の心配がないので、世界中をネットワークで組み、同じ仕事を適地配信して、現地供給ができるのだ。DI 機は枚葉平版機と同じぐらいの胴数にもなるので実用印刷ができよう。

プレステックはサーマル・プレートセッターを通して通常印刷の陣営にも基点を築く。そのセッターは、迅速製版ができ、化学品不使用の同じ基幹部品でできたもので従来印刷機用に転用して使う。このディメンジョン・セッターの利点はそのコンパクトさと化学品を必要としない現像方式の版を使うことである。(その焼きカスは面倒を見て注意深く破棄する必要はある)

まもなく出てくる新しい版、アプローズでは、焼きカス除去のための水洗いの必要もないとプレステックは約束している。

珍獣

DI は真のカラー・デジタル印刷として散在されている。しかし、既存のオフセット機と比較すると、DI はまだ、珍獣である。ハイデルベルグは QM DI で市場での成功はしたもの、他のメーカーは今一である。今までに数台の KBA 46Karat はこの国(英国)で売られたに過ぎない。大判の B2 Karat はそこそこいっているが、B1 小森は 1 台に過ぎない。版供給の仕組みの変革が市場に浸透すると変わってくるかもしれないが、同時に、これは多くの印刷会社の保守的な働きでもある。

マリノ氏によれば、最初に取り上げられてきた分野は、技術上にことで、色とファイル扱いの経験を積むプリプレス操作であった。次に、サービスに価値をつける市場開拓であった。一般の印刷業者は、一般印刷やデジタル印刷よりもっと品質が上がり、ページ当たりの単価が安くなるべし、と言う多方面からの論議に染まっている。

彼は言うには、「DI は顧客獲得ツールだ。ほとんどの DI ユーザーは、今まで到達できなかった新しい顧客ベースを切り開いている。」と。

一つの問題は、市場を作るには新しい代理店をもつことだが、印刷会社は出入り業者の変更を好まない、彼は認める。同時に、市場が今、動いていると言う。これは一般会社で取り上げられそうで、顧客はその簡易の操作、自社所有機の簡易さ、しかも、別個の製版装置や化学薬品管理の手間は要らないのだ。

市場の理解

問題の一端は市場の理解であり、米国の会社が直面するものだ。Presstek はその先進技術製品で知られているが、市場での強さはまだ一歩である。マリノ氏は昨年、この均衡を手直しするため送りこまれ、結果として、機上製品(DI)、機外製品(セッター)のマーケット部員支援をしている。北米では顧客は欧州より良く理解していて、CAP Ventures のごときは、統計手法を用いて、DI の技術はページ当たりコストでも、2 ページ市場の対抗機に対する所有コストでも優位と報告している。マリノ氏は付け加える、「印刷会社と出入りのパートナーのことだけでなく、顧客とその先の客との間のことを知る必要がある。」と。

変革

英国のゼロックス社としては珍しく、プレステック・リョービ DI 機の流通チャンネル造りに失敗し、一方、サイテックスは KBA との提携から引くようになり、販売流通の変革の必要性が起きてきた。KBA 社の販売流通には、NCS Intergrated Systems が含まれ、同社は名を上げ出してきている。「納入は次々と相当量にまできている。」「私は米国と同程度の理解の深さを、ヨーロッパ市場でも頂けたらと願っている。」と彼は言う。

結実の多い分野はインディゴを所有の業者で、より通しの多いもので、もっとコスト効果を上げる必要性を感じている。英国の最初の 46Karat ユーザー、Words & Graphics はこの範疇に入る。

「我々ここでは、流通力を持っていない、まあ、これは変わってきているがね。」

初期の困難さ

DI に関する初期の困難さは解決され、信頼性、品質は過去のものとなっている。確かに、そのクラスのイメージング装置では最高のセッターに匹敵し、機上製版でできる品質は既存機の最高のものと匹敵する、少なくともサンプル比較、展示会で印刷されるものを比較して見ると...

必要なることは、DI の挑戦をさらに強化することだ。マリノ氏によれば、これは起こりつつある。B3、B2 の分野では DI は印刷機の基幹技術となってくるだろう。将来はもっと多くのパートナーと一緒に提携した多くのプラットフォームで DI を見ていただける。我々は、メーカー3社と既に話を進めていて、他の印刷機メーカーものんびりとはしてしまい。

機械的見当合わせなし

DI では機械を簡略化できる。今日まで、DI は機械コストに上乘せプレミアとなっていた。。これは変わるだろう。と言うのは、印刷機をデジタルにすると、複雑な機構を除去できるからだ。例えば、リョービには機械的な見当装置はない。これにより、将来、メーカーのコストは引き下げられ価格に反映されるだろう。

彼は付け加える、DI 技術は新しい迅速切り替え仕様に一方で使われ、他方では、安価な仕様にも使われていく、と。ただし、DI の完全自動デジタル印刷機と対比した最大の弱点は「可変データが、できないことだ。」

製造のコスト削減、使いやすさ、品質、速度、柔軟性、これらの要素でオフセットの生命は延長が図れる。DI は小型サイズ印刷機の基幹技術になると我々は確信している。」

Words & Graphics 社

東ミッドランド地域は大きな工業印刷業者、Leicester 市の Artisan Press 社, Nottingham 市の Vertis 社, Sutton in Ashfield 市の Polestar Chromoworks and Howitts 社などが知られている。これらの会社の影で小規模だが革新的な事業運営がなされている。Leicester 市の過剰人口町、Anstey に英国最初の KBA 社の 46Karat があり、地域の歴史たるチェック模様のビルで動いていた。

同機は Words & Graphics 社の建物内にあり、インディゴの隣で僚友機が比較されるようになっている。同社はインディゴが苦戦している、より長い通しものを扱える機械を探していたとき、Robert Thirlby 会長が言うには、既存機とセッターの組み合わせに行く考えはなかったと言う。

「デジタルで直接イメージを機械に書きこむ、外での分離製版をしない機械を必要としていた。すると、ハイデルベルグか、リョービか、KBA になる。KBA に決めた理由の一つは同社と NCT 社との今までの関係であった。NCT 社はサーバー、ザイネット、それに、ダ

リムのアプリケーションを含むプリプレスの構成(コンフィグレーション)を提供していたのだ。

使い方としては、インディゴが足の長さでできないものをこなしている。Words & Graphics 社での最上限は、10,000 通しであり、以前、B2 機で印刷していたのを凌駕している。その汎用性により、同社は地域を越え、素材を超えて仕事にアタックしている。

大部分の仕事は、出版物、本の表紙、ジャケットとか音楽本のスリーブ(帯)、組版ベースの継続などである。

機械がこの国(英国)へ最初に来たときには、大きい Karat74 で技術的検証をすませていたので、設置は快適そのものであった、と Thirlby 氏は言う。彼は笑ってみせ、「一号機の利点はあるさ。」と。

同社の狙いは二つの機械の均衡をとり、カラープロファイルを合わせ、機械間の仕事の乗せ替えができることだ。同社は単一のワークフローが採れ、標準ファイルを違うリップに送れるのだ。

操作では、用紙はコントロール・デスクで、印刷濃度測定システムを使い、その色を計測する。正しいパラメーターの中で色濃度が落ちるまであるいは、オペレータの優先にさせない限り、機械は自分自身で調整してくれる。見当調整はついていない。と言うのは、機械は水なし方式で湿し水バランスなどの必要がない。

品質、簡易操作、迅速前準備により、機械の生命は期待値まで生き延びよう。

これはインディゴをうまく補ってくれ、Words & Graphics 社は KBA 機をさらに、使うようになってきたので、どちらの機械を好むかと言う愚問を発することを中止することになってきた。 了(T.I)